

別記様式第4号

革新的技術開発・緊急展開事業のうち  
人工知能未来農業創造プロジェクト推進事業

評価担当課:生産局農業環境対策課

事業名	事業実施主体	事業内容	事業費(円)		<input checked="" type="radio"/> A : 計画以上の成果が見られる <input type="radio"/> B : 計画どおりの成果が見られる <input type="radio"/> C : 計画どおりの成果が見られない
革新的技術開発・緊急展開事業のうち人工知能未来農業創造プロジェクト推進事業	全国農業指導ネットワーク協議会	習得が難しい有機栽培や特別栽培の基礎的な技術、GAPの主要ポイントなどを容易に習得できるよう、野菜の有機栽培(高知県高知市)や、GAPを適用した水稻の特別栽培(福井県越前市)をテーマに熟練農業者の技能等を学習できるコンテンツを作成。	9,090,163円 (うち国費9,012,048円)	総合評価	
				総合所見	有機農業、特別栽培、GAPの各コンテンツについて、各地域の気象条件等も踏まえ作成し、対象地域で面積・生産量を増加させることに寄与した。なお、事業目標であった14品目・項目以上の問題集を作成すること、及び対象地域の生産量を20%以上増加させることを達成した。さらに、それぞれ、150~200以上利用され、予算に見合った成果が達成されたと言える。
評価観点ごとの所見					
a成果目標が達成されているか					
<p>事業開始当初、20品目・項目について問題集を作成し、対象地域の生産量を20%以上増加させることを目標とした。結果、40品目・項目以上の問題集を作成し、システムの導入により、福井県においては、受講農家栽培面積が前年度比20%以上増加し、天候不順により同地域での生産量が1割減収になった一方、受講農家の一部は生産量が1割増加した。高知県では、全受講農家で有機農業の取組面積及び生産量が2割増加し、当初の成果目標を十分に達成していると言える。</p>					
b計画に即した取組が行われたか					
<p>計画に即し、検討委員会の開催、熟練農業者の農業技術のノウハウを集約したコンテンツの作成及びコンテンツの周知・普及を行っている。また、各地域の気象条件等に合わせ、地域ごとの熟練農業者の意見を反映させてコンテンツを作成しており、効率的な取組ができたと言える。</p>					
c予算の執行が適正に行われたか。また予算に見合った成果が出たか。					
<p>本事業で作成したコンテンツについて、GAPはNECソリューションイノベータ社のeラーニングシステムで学べるようシステム化し商品化しており、180名が利用。特別栽培についても、農業ICT活用研究会のホームページで公開され、200回以上利用されている。さらに、有機農業は、eラーニングシステム「誰でもできる有機家庭菜園」に活用され、約100名の利用者があり、予算に見合った成果が出ていると言える。</p>					

<記載要領>

- 1 評価観点ごとの所見欄には、a、b、cそれぞれの観点からの所見を記載する。
- 2 総合評価欄には、評価観点ごとの所見欄を踏まえて、A、B又はCのいずれかに○を付ける。
- 3 総合所見欄には取組全体について総合的な所見を記載する。
- 4 事業費は決算額を記入する。